



大阪市立 春日出中学校



所在地 〒554-0023 大阪市此花区春日出南 1-2-8

電話番号 06-6468-7371



校長名 永澤 良司

春日出中学校

検索

学校概要

本校は、大阪市立此花第一中学校として昭和22年に設立され、昭和24年に春日出中学校と改称、卒業生や保護者の皆様に愛され、地域の皆様に育まれ、2年後に創立80周年の節目の年を迎えます。卒業生は2万2千余名を数え、此花区・大阪市はもとより、社会の幅広い分野で活躍されています。学校目標として「一人ひとりの違いを尊重し、一生懸命に努力できる生徒たちの育成」を目指しています。重点目標として非認知能力(自分を高める力、他者とつながる力、自分と向き合う力)の向上があり、学習面だけでなく人間力を養います。卒業してからも社会に貢献できる人間育成を目指します。

標準服



運営に関する計画 中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 年度末の校内調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について、最も肯定的な「思う」に答える生徒の割合を、94.2%以上にする。
- 令和7年度の校内調査の「生徒会や委員会、学級での班や係活動等に積極的に取り組んでいる」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、90%以上にする。
- 年度末の校内調査の「スマホの危険性及び適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、95.9%以上にする。
- 年度末の校内調査の「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え行動できた」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、89%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- 令和7年度末の校内調査の「友達一人一人のちがいを大切にしている」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、96.2%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度末中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において、いずれの学年も1.00以上とする。
- 令和7年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を55%以上にする。
- 年度末の校内調査において、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な回答をする生徒の割合を55%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- ICTを活用した授業において、全教員でのべ7000時間を上回る。
- ゆとりの日を週1回以上とする。

卒業後の主な進路

令和5年度卒業生:142名

●公立

公大高専、港南造形(4)、工芸、大塚、西成、成城、わかば、摂津、東淀川、旭、港(5)、東、桜宮(5)、汎愛(3)、清水谷、阿倍野、花園(4)、河南、市岡(6)、大手前、高津、四條畷、住吉、東、桜和、淀商(5)、住吉商、西野田工科(5)、淀川工科、今宮工科、都島工、泉尾工(3)、柴島、咲くやこの花(9)、大正白稜、西野田工科(定)、桃谷(通信)、久米島、出来島支援

●私立等

清風、明星、大阪成蹊女子、好文学園女子、梅花、あべの翔学、大阪、大阪学院大学(4)、浪速、初芝立命館、昇陽、関西大学第一、関西大学北陽、桃山学院、大阪国際、追手門学院大手前、近畿大学附属、清風南海、追手門学院、大阪桐蔭、四條畷学園、上宮、大阪夕陽丘学園、初芝橋本、四国学院大学香川西、芦屋学園、星槎国際大阪学習センター、長尾谷(3)、第一学院、英風、代々木、ルネサンス大阪(7)、大阪情報コンピュータ

(3名以上は人数を記載/順不同)

部活動

運動部：ソフトテニス部・バレーボール部・バドミントン部・サッカー部・陸上競技部・野球部・剣道部・ダンス部
文化部：吹奏楽部・美術部・パソコン工作部

全国学力・学習状況調査

※令和5年度の平均正答率

国語	数学	英語
68	45	38

【結果の概要及び成果と課題】

国語は、全国平均より1.8ポイント下回っているが、大阪府平均には到達しており、大阪市平均より1ポイント上回っている。学力向上の兆しが見られる。「知識・技能」に関しては、全国平均・大阪府平均ともに上回り、継続して行ってきた、振り返り小テストが結果となって表れていると思われる。問題形式では「記述式」に関して、全国平均・大阪府平均より大きく下回る結果となり、文章表現力に課題がみられる。

数学は、全国平均より6ポイント、大阪府平均より4ポイントと下回る結果となった。「図形」や「関数」の領域においては、全国平均・大阪府平均より大きく下回る結果となった。この領域に関しては、継続して、基礎基本の定着を図る必要があると思われる。英語は、全国平均より7.6ポイント、大阪府平均より6ポイント下回る結果となった。どの領域に関しても、全国平均・大阪府平均よりも下回っており、継続して、基礎基本の定着を図る必要があると思われる。

※調査結果の正答率数値は、学力を測る一つの物差しではありますが、単年度結果であるこの数字をもって、現在の本校総体としての「学力」を示すものではありませんのでご注意ください。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査

※令和5年度の調査結果

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ
男子	26.77kg	29.63回	43.02cm	54.7回	76.04回	7.53秒	192.44cm	20.02m
女子	22.16kg	21.97回	42.58cm	49.5回	50.82回	8.91秒	169.86cm	13.47m

【結果の概要及び成果と課題】

男女ともに体力合計点が全国平均を上回った。特に、敏捷性については全国平均を大きく上回った。継続して、効果的なトレーニングをまじめに取り組んだことが結果となって表れていると思われる。しかし、筋力については、全国平均を下回っていることから、授業の中で補強トレーニングの取り組み方を考えていかなければならない。トレーニング方法の見直しも図りながら、さらなる体力の向上に努める。

学校教育目標

【安心・安全な教育の推進】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【学びを支える教育環境の充実】

一人ひとりの違いを尊重し、一生懸命に努力できる生徒たちの育成

学びあい、 高めあう集団づくり

一人ではできないことも、みんなの力をあわせればできる！
一人ひとりの個性をいかしながら、集団の持つ力で、生徒をより大きく成長させていきます。



技・心ともに育む部活動



一生懸命やるから感動がある



3年後、さらにその先をみつめた教育活動

生徒に育みたい力

非認知能力

- ・自分を高める力
- ・他者とつながる力
- ・自分と向き合う力

